

一宮市立市民病院呼吸器内科に通院中または過去に通院された患者さん・ご家族の方へリハビリテーション室における臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、肺結核患者の機能的予後予測因子の検討に関する臨床研究を実施しております。（この研究は当院の臨床研究審査小委員会の審査・承認を得て調査を行っています。）

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	肺結核患者における機能的予後予測因子の検討
所属（診療科）	一宮市立市民病院 リハビリテーション室
研究責任者（職名）	伊藤 将平（理学療法士）
研究実施期間	令和6年5月1日～令和8年3月31日
研究の意義・目的	本研究では、肺結核患者を対象に患者特性や身体機能評価を含めた経過に関する情報を調査し、転帰や早期排菌陰性化、日常生活動作に影響する因子を検討することを目的とします。 入院中の情報から早期排菌陰性化や退院先を予測できれば、治療計画を立てる際の指針となり、リハビリテーションの質を高める取り組みにつながる可能性があります。
対象となる患者さん	当院に肺結核で入院された20歳以上の患者さん
利用するカルテ情報	カルテから年齢、性別、BMI、入院前歩行能力、現病歴、既往歴、服薬情報、理学療法実施内容、栄養評価、入院時の採血データ、認知機能検査結果、握力、筋力、筋肉量、身体パフォーマンス等を調査します。
研究方法	病院内電子カルテよりデータ収集することで行う後ろ向き観察研究です。
問い合わせ先	窓口：リハビリテーション室 伊藤 将平（理学療法士） 電話番号：0586-71-1911（内線：2040）

既存の臨床記録（カルテ記録）、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。

利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除研究します。

研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表・論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

この研究に御自身の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。